

公益目的事業1(定款第4条)

頁

1. 男女共同参画に関する情報及び資料の収集、保存及び提供 (第1号)	(1) 図書資料の収集と提供	① 図書情報室の運営	8	
		(2) 図書事業		① ブックフェア及び市立図書館等との連携
				② 男女共同参画パネル展
	③ 上映会			
	(3) 情報発信事業	① インターネットでの情報発信	10	
		② 啓発誌・講座案内の発行	11	
2. 男女共同参画社会の形成のための調査及び研究 (第2号)	調査研究	① データブック作成(隔年)	12	
	3. 男女共同参画社会の実現を目指す取組の普及促進のための広報、啓発及び学習支援 (第3号)	(1) 啓発事業及び学習支援	① みんなで考える男女共同参画講座	13
② 男性の家事・育児参画講座			14	
③ 女性の就業継続支援講座			16	
④ DV予防講座			18	
(2) 企業・大学・地域との連携事業		① 性暴力被害者支援事業	19	
		② 女子大学生と考える女性活躍	20	
		③ 男らしさと暴力を考える	22	
		④ “男らしさ”って何なん？パネル展&おしゃべり会	24	
(3) 教養・健康増進事業		運動実技講座	26	
		① うた講座 その他教養講座		
(4) 保育事業		事業参加者の保育	28	
		① 施設利用者の保育 親子のふれあい広場		

公益目的事業2(定款第4条)

頁

4. 男女共同参画に関する相談 (第4号)	(1) 相談業務	① 女性のための相談	29
		② 男性のための相談	
	(2) 相談事業	① DV被害当事者のための自立支援事業	30
		② トラウマケアのための読書会	31
		③ 大学相談室派遣事業	32
		④ 相談員研修	
	(3) 関係機関連携 苦情・要望等処理制度の受付	① 関係機関連携	33
		苦情・要望等処理制度の受付	

公益目的事業3(定款第4条)

頁

5. 男女共同参画に関する市民の活動の支援及び相互交流の促進 (第5号)	(1) 地域コミュニティ活性化の促進事業	① 京都市男女共同参画市民会議(ウイングスフォーラム)	34
		② センター利用者や地域との協働事業	35
		③ パープルリボンの取り組み他	36
		④ 中京区民ふれあい人権映画鑑賞会	38
	(2) 人材・団体育成事業	① 市民活動サポート事業	39
		② 防災リーダー育成事業	41
		③ 共催・後援事業/講座受講生のグループ育成	43
		④ 相談員養成講座(★)	44
	(3) 京都市男女共同参画センターの目的利用団体に対する施設管理業務		46

収益事業

頁

京都市男女共同参画センターの目的利用団体以外に対する施設管理業務	48
----------------------------------	----

財団運営

頁

経営管理、組織・人事管理	49
財務運営	51

公益1	(単位:千円)				
定款	男女共同参画に関する情報及び資料の収集、保存及び提供			条項	第1号
事業名	(1)図書資料の収集と提供／(2)図書事業			総合窓口課	
講座名					
目的	男女共同参画推進拠点としての情報発信力の向上 <ul style="list-style-type: none"> ・ 男女共同参画に関する情報・資料の収集 ・ 図書情報室利用者への適切なレファレンスの実施 ・ 図書資料を活用した啓発事業の実施 				
	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
事業費	1,130	1,058	72		

事業の計画

1. 実施内容

- ・ 男女共同参画に関する情報・資料の収集
- ・ 図書情報室利用者への適切なレファレンスの実施
- ・ ブックフェア及び市立図書館等との連携(パネル展)
- ・ 図書室資料を活用したDVD上映会

2. 事業実施における課題

- ・ 図書情報室の周知と他図書館や中央青少年活動センターとの連携

3. 実績

緊急事態措置により

2020年4月18日から5月31日まで 全館閉館

2021年1月16日から2月28日まで 平日の夜間20時で全館閉館

1. 男女共同参画パネル展及びブックフェアの開催

① 男女共同参画週間

「そっか。いい人生は、いい時間の使い方なんだ。ワクワク・ライフ・バランス」

6月22日(月)～6月30日(火)

② パープルリボン月間

「女性への暴力にNO! と言おう」#MeTooを一時のブームで終わらせない」

11月10日(火)～11月30日(月)

③ 国際女性デー「国際女性デー2021」

2月27日(土)～3月14日(日)

④ (ブックフェアのみ)国際ガールズデー「10月11日は国際ガールズデー！」

9月21日(火)～10月31日(土)

2. ミニブックフェアの開催

新着資料を中心に、ジェンダーに関する時事問題に注目したミニブックフェアを開催

「ホワイトリボン」「思春期の男の子と男らしさ」など 7回

3. 京都市立図書館へのブックリストとパネルデータの提供

以下の男女共同参画のテーマに関するブックリストと協会作成のパネルデータを、京都市立図書館に配布した。

① 男女共同参画週間 (9館)

② 国際ガールズデー (4館)

③ パープルリボン月間 (3館)

④ 国際女性デー2021 (7館)

4. 夏の映画上映会(4回)

実施時期 8月6日(木)・7日(金)のべ52人

上映作品 8月6日(木)10時『THEダイエット!』 13時『そして父になる』□

8月7日(金)10時『サンドラの週末』 13時『母をたずねて1800マイル』

<別紙1>「2020年度 図書資料の収集と提供」(p.55)

緊急事態措置による閉館期間があり、再開後も、利用者数、新規登録者数、貸出数等、低調のまま推移した1年となった。そんな中、ブックフェアは、図書情報室での展示にとどまらず、市立図書館にデータを提供することで、より多くの市民に向けた啓発の機会となった。

男女共同参画パネル展では、当協会で作成したパネルや、他の男女共同参画センター所蔵のパネルを借り受けて実施した。

男女共同参画について考える機会として、図書情報室所蔵のDVD上映会を開催した。男女共同参画に関する最新の話題(#KuToo)を導入部分に入れるなどの工夫を行い、参加者には好評であった。

公益1	(単位:千円)				
定款	男女共同参画に関する情報及び資料の収集、保存及び提供		条項	第1号	
事業名	(3)情報発信事業		事業企画課		
講座名	インターネットでの情報発信				
目的	ICT(情報通信技術)及びその他ツールを利用した情報発信により、男女共同参画の促進を図る。				
	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
事業費	1,500	2,182	△ 682		

事業の計画

1. 実施内容
<ul style="list-style-type: none"> ・ ホームページの更新(随時) ・ メールマガジン「Wings Press」(月1回・号外) ・ Facebook・Twitter(随時)
2. 事業実施における課題
<ul style="list-style-type: none"> ・ タイムリーな情報発信と社会の時流にのったテーマ設定
3. 実績
<ul style="list-style-type: none"> ・ ホームページの年間閲覧回数 285,429回 (新規閲覧 149,887人) ・ メールマガジン「Wings Press」登録者数合計2,712人 ・ Facebook いいね数 577人/最大リーチ843人(イベントの最大リーチ7,001人) ・ Twitter フォロワー数1,354人(うち新規89人) 1ツイート最大のインプレッション(表示回数) 47,420回
4. 概要と成果
<p>ホームページについては、アクセシビリティJIS X 8341-3:2016「AA」準拠の自己チェック機能、管理システムの更新・動作環境等を改善し、属人的業務にならないための運営の見直しに取り組んだ。</p> <p>ホームページの閲覧数は昨年に比べて約10万ビュー減少した。来館方法を確認する「ACCESS」ページの閲覧が前年比で約6割落ち込んでおり、新型コロナウイルス感染拡大の影響と考えられる。「ジェンダーハンドブック」「参画通信」「防災ノート」の閲覧数は伸びており、10代の閲覧も増加している。大学や青少年活動センターとの事業連携、SNSや報道の効果によるものと思われる。</p>

公益1	(単位:千円)				
定款	男女共同参画社会の形成のための調査及び研究	条項	第2号		
事業名	調査研究	事業企画課			
講座名	データブック作成(隔年)				
目的	京都市の男女共同参画の現状を市民に情報提供することや、男女共同参画をテーマに調査分析を行うことで、男女共同参画を促進させる。				
	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
事業費	250	205	45		

事業の計画

1. 実施内容
<ul style="list-style-type: none"> 「京都市男女共同参画データブック」の発行
2. 事業実施における課題
<ul style="list-style-type: none"> 京都市男女共同参画に関するアンケート調査報告書等の最新データの把握と冊子の効果的な活用
3. 実績
<p>令和2年度版 京都市男女共同参画データブック／発行部数 2500部 「みんなで考える男女共同参画講座」・関連事業で配布(2年間)</p> <p>令和2年度版 京都市男女共同参画データブック 発行</p> <ol style="list-style-type: none"> 男女共同参画に関する意識 男女共同参画の現状 真のワーク・ライフ・バランスの推進 DV(ドメスティック・バイオレンス)・性暴力行為 セクシュアル・ハラスメント、妊娠・出産等に関するハラスメント 京都市男女共同参画推進条例 女性の人権・男女共同参画に関する国内外の動き <p>裏面 ウイングス京都の紹介／みんなで考える男女共同参画講座について</p>
4. 概要と成果
<p>男女共同参画に関連する政府公表資料、京都市が発行した行政資料をもとに、男女共同参画データブックを作成した。特に、令和元年度に京都市が実施した「男女共同参画に関するアンケート」の結果を用いるようにした。今年度は、新たに、女性雇用の課題でもある女性の正規雇用率に注目し、20代後半でピークとなり、その後下降し続けるL字カーブをグラフに用いたり、ますます深刻化する性暴力行為に関するデータを取り上げるなど、日本の現状や課題を様々な面から提議できるよう工夫した。</p>

公益1	(単位:千円)				
定款	男女共同参画社会の実現を目指す取組の普及促進のための広報、啓発及び学習支援	条項	第3号		
事業名	啓発事業及び学習支援	事業企画課			
講座名	みんなで考える男女共同参画講座				
目的	男女共同参画についての基礎知識を学ぶ機会として、一般、企業、学校教職員、PTA等の団体を対象に、男女共同参画に関する基礎用語や事象の解説などを行う講座を実施するとともに、男女共同参画の課題解決に向けた学習支援を行う。				
	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
事業費	260	168	92		

事業の計画

1. 実施内容
<p>①定期開催 一般市民向け基礎講座(年4回 ウィングス京都にて実施)</p> <p>②出前講座 企業・教職員・団体向け基礎講座(希望に応じてテーマ・会場を選定) ＜講座テーマ＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 男女共同参画基礎講座 ・ 男女平等教育推進について ・ 子育て世代の男女共同参画 ・ DV・デートDV ・ セクシュアルハラスメント ・ 働くあなたの真のワーク・ライフ・バランス ・ 防災と男女共同参画 ・ LGBTって何？
2. 事業実施における課題
<ul style="list-style-type: none"> ・ ニーズに応じた講座内容の充実
3. 実績
<p>年間25回の講座を実施し、2,796人の参加となった。そのうち定期開催は4回で、それぞれ異なるテーマで実施した。</p> <p>また、定期開催、出前講座とは別に、26件の学習相談に応じた。</p> <p>＜別紙2-1＞「令和2年度『みんなで考える男女共同参画講座』年間利用数」(p.56)</p> <p>＜別紙2-2＞「研修相談」(p.57)</p>
4. 概要と成果
<p>男女共同参画に関する国内外の動きやデータを確認し、男女共同参画社会の実現に向けた学びの場を提供した。</p> <p>出前講座では、小学校からの依頼のほとんどがLGBTの内容となっており、教員が児童向きに使用できるワークシートや本の紹介を行った。課題として、児童に対応する際の助言を求められるケースが多いため、属人的な対応にならないよう、協会内部での研修が必要である。コロナ禍の影響から依頼件数は減少したが、防災に関する学習相談や問合せが増加した。DVをテーマとした出前講座では、業務に関連する内容を希望されるケースが増え、事前に質問を受け付けることで具体的に業務に生かせる内容を伝えることができ好評であった。</p>

公益1	(単位:千円)				
定款	男女共同参画社会の実現を目指す取組の普及促進のための広報、啓発及び学習支援	条項	第3号		
事業名	啓発事業及び学習支援	事業企画課			
講座名	男性の家事・育児参画講座				
目的	男性が家庭や地域に戸惑うことなく参画し、ワーク・ライフ・バランスを維持するための支援				
	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
事業費	380	195	185		

事業の計画

1. 実施内容
<ul style="list-style-type: none"> 初めて父親になる男性を対象に育児講座を実施(全2回×2 計4回)
2. 事業実施における課題
<ul style="list-style-type: none"> 家事・育児参画を育児期だけのものではなく、日常生活の一部としてとらえるための働きかけ
3. 実績
<p>はじめてパパの育児講座 赤ちゃんと遊ぼう！暮らそう！楽しもう！</p> <p>第1期 回数(2) 定員(20) 応募者数(32) 参加者数(17) のべ参加者数(34) 定員充足率(85%)</p> <p>第2期 回数(2) 定員(15) 応募者数(27) 参加者数(15) のべ参加者数(29) 定員充足率(100%) 同伴者ののべ参加者数(19)</p> <p>【講師】 阿川勇太(兵庫医療大学看護学部生活支援看護学助教 保健師 看護師 保育士 NPO法人ファザーリングジャパン関西メンバー)</p> <p>第1期 オンラインで開催</p> <p>①【日時】7月4日(土)10:00~7月24日(金)17:00 【内容】生活、関わり方、発達、看護について、子どもの成長に伴って注意すること 遊び方の実技実習</p> <p>②【日時】7月25日(土)10:00~8月3日(月)17:00 【内容】寝かしつけ方 寝るための環境を整える パートナーとのコミュニケーションについてのワークショップ</p> <p>第2期 対面で開催</p> <p>①【日時】9月12日(土)10:00~12:00 ②9月26日(土)10:00~12:00 ※内容については、それぞれ第1期と同じ</p>

4. 概要と成果

当初第1期の講座を5.6月に対面で行う予定だったが、緊急事態宣言の発令で、オンラインに変更し7月に実施した。受講生は安心して受講できたことを大変喜んでいて、第2期は定員を減らし、対面講座を実施したところ、定員より多い応募があり、男性の育児に対する関心の高さがうかがえた。もっと回数を増やして、実施してほしいとの声もあった。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、子どもを別室で保育したため、参加者は落ち着いて受講ができ、講座内容の理解がいつもより深まった。しかし、赤ちゃん人形を用いての遊びや絵本の実習となったため、子どもの喜ぶ反応を直に感じてもらえなかった。子どもとの実習であれば、父親はより充実したであろうと推察する。

公益1	(単位:千円)				
定款	男女共同参画社会の実現を目指す取組の普及促進のための広報、啓発及び学習支援	条項	第3号		
事業名	啓発事業及び学習支援	事業企画課			
講座名	女性の就業継続支援講座				
目的	育児と仕事が両立できる就業継続支援を行う。				
	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
事業費	300	127	173		

事業の計画

1. 実施内容
<ul style="list-style-type: none"> ・ 育児中の女性を対象に、安心して職場復帰し、主体的にキャリア構築できる講座を実施(全3回)
2. 事業実施における課題
<ul style="list-style-type: none"> ・ 就業継続のための意識付けと夫をはじめ職場関係者との円滑なコミュニケーションについて主体的に考えるための働きかけ ・ 受講生同士の情報交換と交流の場づくりへの働きかけ
3. 実績
<p>働くママを応援！育休からの復職準備講座 回数(3) 定員(15) 応募者数(9) 参加者数(9) のべ参加者数(26) 定員充足率(60%)</p> <p>①育休・産休中に感じる不安は何？復職前に不安払拭のヒントを得よう！ 【日時】10月3日(土)13:00～15:00 【講師】井本七瀬(パワーママプロジェクト関西支部) 【内容】今抱えている漠然とした不安は何か、またその不安を復職前にどう払拭するかヒントを得ながら考えた。</p> <p>②先輩ママの事例を参考に！自分だけの両立キャリアを描こう！ 【日時】10月10日(土)13:00～15:00 【講師】井本七瀬(パワーママプロジェクト関西支部) 【内容】先輩ママの事例を参考に、自分だけの両立キャリアを考えた。</p> <p>③みんなで話してみませんか？ママ達の座談会 【日時】10月24日(土)13:00～14:00 【講師】参加者同士の交流会のため講師なし。当協会職員が進行を担当 【内容】先輩ママとして前年度の受講生をゲストに迎え座談会を実施し、復職後に関する質問にゲストが回答するとともに、受講生たちもそのことについて意見交換した。</p>

4. 概要と成果

育休を取得中の方を対象に、育児と仕事の両立で感じる不安や悩みを減らし、自信をつけるとともに、自身のキャリア形成を考える講座を実施した。ママ向けフリーペーパー誌のWEB版への掲載や市内のつどいの広場への案内等、広報をいつも以上に強化したが、新型コロナウイルス感染症の影響もあり集客が伸びなかった。しかし、出席率は非常に良く、先輩ママでもある講師の失敗も含めたありのままの体験談が参考になると受講生に好評だった。また、受講生同士で、不安や悩み等を話し共有できたこと、子どもと離れた環境で自身の今後のキャリアについて考えられたことで、それぞれ復職に向け前進出来たと感想が寄せられた。

公益1	(単位:千円)				
定款	男女共同参画社会の実現を目指す取組の普及促進のための広報、啓発及び学習支援	条項	第3号		
事業名	啓発事業及び学習支援	事業企画課			
講座名	DV予防講座				
目的	DVや性暴力根絶のために、若年層に向けた予防教育をはじめ、関係機関の職員等に向け、DV予防について啓発を行う。				
	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
事業費	290	117	173		

事業の計画

1. 実施内容
・ 関係機関や高校・大学等と連携しDVやデートDVの予防講座を実施する。
2. 事業実施における課題
・ 対象となる機関との連携
3. 実績
<p>【講師】①竹之下雅代(ウィメンズカウンセリング京都) ②～④伊田広行(非暴カルーム・大阪NOVO(ノボ))</p> <p>①DVの基礎知識 電話相談でDVを見逃さないために 回数(6:対面1+ビデオ視聴5) 対面講義:定員(20) 参加者数(32) 定員充足率(160%) 【対象】京都犯罪被害者支援センターボランティア 【日時】9/5(土)10:30～12:00 2回、9/14(月)2回 9/15(火)・9/17(木)全6回 (初回9/5 10:30～12:00対面講義・他5回は、初回を録画した動画をビデオ視聴)</p> <p>②DVの被害と加害—その支援の現場から 回数(1) 定員(30)参加者数(15) 定員充足率(50%) 【対象】保護司・京都保護観察所職員 【日時】11月19日(木) 14:00～15:30</p> <p>③DVが疑われる家族及び面前DVを受けている子どもへの対処方法 回数(1) 定員(20)参加者数(19) 定員充足率(95%) 【対象】南保育所 保育士・職員 【日時】12月11日(金) 18:00～19:30</p> <p>④デートDVとは? …相談や反応があった時の対応を考える 回数(1) 定員(40)参加者数(37) 定員充足率(93%) 【対象】京都市立椋原中学校 教員 【日時】1月14日(木) 15:00～16:30</p>
4. 概要と成果
<p>今年度は、犯罪被害者のためのボランティア、保護司、保育士、中学教員等多岐に渡る分野の関係者に講座を実施した。DVやデートDVを正しく理解することで、被害者を早期に発見でき、組織的な協力体制で対応する事が早期解決に結び付くことを伝えることができた。また、加害者への適切な対応が再犯防止につながることを講座で伝えられたことは有意義であった。</p>

公益1	(単位:千円)				
定款	男女共同参画社会の実現を目指す取組の普及促進のための広報、啓発及び学習支援		条項	第3号	
事業名	企業・大学・地域との連携事業		事業企画課		
講座名	性暴力被害者支援事業				
目的	大学生を対象に「性暴力」について学ぶ機会を提供することで、彼らが被害者や加害者にならないための予防教育を実施する。				
	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
事業費	260	61	199		

事業の計画

1. 実施内容
<ul style="list-style-type: none"> ・ 大学生を対象に性暴力サバイバー(被害を乗り越えた人)の講演会を実施(2回)
2. 事業実施における課題
<ul style="list-style-type: none"> ・ 大学との連携と協力
3. 実績
<p>「性暴力の被害者にも加害者にも傍観者にもならないために」 回数(2) のべ参加者数(2,484) 【日時】①12月10日(木)14:30~16:00 ②12月10日(木)~2021年1月31日(日) 【講師】山本潤(一般社団法人Spring代表理事/SANE(性暴力被害者支援看護師)/法務省「性犯罪に関する刑事法検討会」委員) 【対象】京都光華女子大学の学生と教職員 ①授業「社会とジェンダー」84人 ②学内オンデマンドによる視聴 2,400人 ※オンライン授業終了後、学内オンデマンドにより全学生と教職員が視聴可能とした 【連携・協力依頼先】京都光華女子大学</p>
4. 概要と成果
<p>若い世代がジェンダーを背景にした暴力の問題に向き合い、自分には何ができるのか、社会がどうあればよいのかを考える機会として、オンライン授業と学内オンデマンドによる配信を実施した。今年度は、性暴力が身近な問題であると気付けるように、就活生を狙った性犯罪、エントラップメント型被害と介入についての解説を加えた。法改正(課題の見直し)や性差別問題についてはこれまでの授業と関連づけながら理解でき、深い学びにつながったようだ。</p> <p>アンケートからは、多くの学生が“自分に必要な知識”と捉え、性暴力に自分がどう向き合うべきか、自分に何ができるのかを考えたことがうかがえた。また聴講後の理解度は98%と高く、「意識の変化があった」と93%が回答している。多くの学生が「当事者の話」が聞けたことを貴重な機会とし、辛い経験を乗り越えて被害者救済のために活動する講師の言葉を真摯に受け止めており、次年度以降も継続してこのような機会を設けていきたい。</p>

公益1	(単位:千円)				
定款	男女共同参画社会の実現を目指す取組の普及促進のための広報、啓発及び学習支援	条項	第3号		
事業名	企業・大学・地域との連携事業		事業企画課		
講座名	女子大学生と考える女性活躍				
目的	大学と協働で事業を行うことで男女共同参画の加速化をめざす				
	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
事業費	275	179	96		

事業の計画

1. 実施内容
<ul style="list-style-type: none"> 大学との連携によるセミナーを実施し、女性が働き続けることや自身のキャリアについてイメージできる場とする。(全2回)
2. 事業実施における課題
<ul style="list-style-type: none"> 大学との円滑な連携 大学独自で行っている実践的な就職セミナーではなく、ジェンダー教育を含むセミナーにするための工夫
3. 実績
<p>働く女性ロールモデルによる座談会 女子学生に働き続けることを身近にイメージしてもらい、『自分の人生の将来像(キャリア)を描きながら自分で選択していくことの大切さ』を学ぶきっかけにしてもらうため、各世代の働く女性をロールモデルとして招き、それぞれの経験・仕事に対する向き合い方などについて座談会を収録。その動画を大学の授業などで使用していただいた。</p> <p>【座談会概要】動画時間:約37分 モデレーター: 円城新子(株式会社ユニオン・エー代表取締役)</p> <p>ロールモデル: ・(20代) 山田梨世(株式会社ユニオン・エー) 勤続5年までの若手 ・(30代) 古川こなつ(トヨタカローラ京都株式会社) 勤続10年の育休取得者 ・(40代) 上野ゆかり(三洋化成工業株式会社) 出産・育休経験のある管理職</p> <p>【視聴者】京都女子大学 授業「女性を生きる」181人 光華女子大学 授業「女性と現代社会」、就職支援センター、ゼミなど 382人 (授業後オンデマンド配信)</p>

4. 概要と成果

新型コロナウイルス感染拡大防止で大学がオンライン授業にシフトしており、それに対応するため、今回初めて座談会の動画収録を試みた。動画にしたことで、授業や、就職支援センターやゼミなどでも使用していただくことができ、結果として、より多くの学生に届けることができた。アンケートでは、それぞれのライフステージによって、働き方や優先順位が変化することを学び、自分のキャリアを考えるよい機会となったとの声が多数あった。今回はモデレーターがロールモデルに同じ質問を投げかける形式にしたが、ロールモデル同士の対話、意見交換などがあればさらによかった。コロナ禍で対面授業が制限されていたことにより、動画を効果的に活用できることに気づき、両大学でも大変好評であった。他の大学でも学生のキャリア形成支援のひとつのツールとして動画を活用していただけるよう働きかけていきたい。

公益1	(単位:千円)				
定款	男女共同参画社会の実現を目指す取組の普及促進のための広報、啓発及び学習支援		条項	第3号	
事業名	企業・大学・地域との連携事業		事業企画課		
講座名	男らしさと暴力を考える				
目的	「男性の非暴力」の取組みを通して、女性への暴力や男女共同参画の視点について、男性自身が考えるきっかけを促す。				
	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
事業費	275	191	84		

事業の計画

1. 実施内容
<ul style="list-style-type: none"> ・ 男性の非暴力に関する冊子(ジェンダーハンドブック)を使ったセミナーを実施する。(全1回) ※ホワイトリボンキャンペーンジャパンとの協働事業
2. 事業実施における課題
<ul style="list-style-type: none"> ・ 男性の非暴力について多くの人に知ってもらうための機会づくり。 ・ より多くの男性が、興味を持ち参加するためのしかけ。
3. 実績
<p>一般社団法人ホワイトリボンキャンペーン・ジャパン×ウイングス京都コラボ企画 「“男らしさ”に悩む思春期の男の子に、大人はどう関われる？」 会場参加 回数(1) 定員(25) 応募者数(25) 参加者数(20) 定員充足率(80%) オンライン参加 回数(1) 定員(100) 応募者数(117) 参加者数(117) 定員充足率(117%) 【日時】 11月14日(土) 14:00~16:00 【講師】 シオリーヌ(助産師・YouTuber)、大月隆生(立命館大学 大学院生)、國兼淳(京都市ユースサービス協会 ユースワーカー)、西井開(市民団体Re-design-for-Men・ぼくらの非モテ研究会)、多賀太(ホワイトリボンキャンペーン・ジャパンメンバー・関西大学教授)</p> <p>【内容】第1部ではシオリーヌ氏がオンライン出演し、思春期の男の子が性や恋愛に関するどのような悩みや生きづらさを抱えているか、大人が接する際に持つべき心構えについて情報提供があった。第2部では、ジェンダーに関する活動を行う男性4名がかつて思春期に感じていた生きづらさを語り合い、具体的かつ多様な悩みの形が浮き彫りにした。大人の男性自身も、他者とのコミュニケーションを変えていくこと、新たな生き方・振る舞いのロールモデルとなって思春期の男の子に寄り添っていく必要性、男性同士の繋がりの重要性が語られた。</p>

4. 概要と成果

初のオンラインと会場併用開催だったが、注目度が高いYoutuberの登壇もあり、定員を超える申し込みがあった。20代含む全国から幅広い年代・属性の参加者があったことは、当協会の取り組みを周知するうえでも重要な機会になった。また講演内容についても満足度が高く、男性当事者からは共感の声が、また女性やそれ以外の方も発見と気づきの声が寄せられた。若年男性自身が自分の言葉で語りあうトークセッションを開催したことで、従来の「男らしさ」ではない形のコミュニケーションをまさに現場で体现できた。

公益1	(単位:千円)				
定款	男女共同参画社会の実現を目指す取組の普及促進のための広報、啓発及び学習支援		条項	第3号	
事業名	企業・大学・地域との連携事業		事業企画課		
講座名	“男らしさ”って何なん？パネル展&おしゃべり会(中央青少年活動センターとのコラボ企画)				
目的	「男らしさ」が持つ問題点について青少年に向けた啓発を行い、若年層が問題を考えるきっかけを促す。				
	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
事業費	0	0	0		

事業の計画

1. 実施内容
<ul style="list-style-type: none"> ・「思春期の男らしさと暴力」をテーマに発行したGender Hand Book vol.2の内容についてのパネル展掲示と、座談会(1回)を、京都市ユースサービス協会と共催する。
2. 事業実施における課題
<ul style="list-style-type: none"> ・中高生を中心とした思春期の青少年が「男らしさ」の問題を知り、考える機会を作る。
3. 実績
<p>京都市中央青少年活動センターコラボ企画 「ワン吉」と一緒に悩もう！“男らしさ”ってなんなん？パネル展&おしゃべり会 カフェ企画参加者 (3)</p> <p>【日程】 ①パネル展:12月1日(火)～12月28日(月) ②カフェ企画:12月22日(火)19:00～20:30</p> <p>【対象】 ①パネル展:京都市中央青少年活動センターの利用者 ②カフェ企画:中学生～30歳以下の青少年および、性自認が「男性」寄りの人</p> <p>【場所】ウイングス京都3階 京都市中央青少年活動センター ロビー</p> <p>【内容】パネル展では思春期男子に起こりがちな男らしさにまつわる悩みを具体的に紹介し、当事者である青少年自身が考える機会を作った。パネル展の内容について当事者同士が話し合うカフェ企画では、高校生～大学生の3名の男性利用者が、パネルの内容に対する意見や感想を伝え合い、普段の学校・家庭生活におけるジェンダーに関する疑問を話し合った。</p>

4. 概要と成果

パネル展では京都市中央青少年活動センター公式キャラクターである「ワン吉」を登場させ、SNS風のデザインにするなど、若年層の目に留まりやすい、親しみやすい形式のものを目指した。パネルへの反応もよく、立ち止まって読み込む、コメントを書き込む利用者もあり、青少年支援に取り組む当センターとのコラボだからこその意味ある発信ができた。

また、おしゃべり会に関しては少人数での実施となったが、立場の異なる様々な意見が出て、それぞれが普段感じるジェンダーに関する葛藤や意見がフラットに話し合える貴重な機会となった。

公益1	(単位:千円)				
定款	男女共同参画社会の実現を目指す取組の普及促進のための広報、啓発及び学習支援			条項	第3号
事業名	教養・健康増進事業			事業企画課	
講座名	運動実技講座・うた講座・その他教養講座				
目的	生涯にわたる健康と生きがいを維持できるよう市民ニーズに応えたさまざまなプログラムで、幅広い年代を対象とした講座を開催する。				
	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
事業費	10,280	4,261	6,019		

事業の計画

1. 実施内容
<ul style="list-style-type: none"> ・ 運動実技講座(9コース×2期-1コース取り止め=17コース) ・ うた講座(5コース×2期=10コース) ・ 歌声喫茶(年間とおして中止) ・ 朗読講座(1クラス×1期)
2. 事業実施における課題
<ul style="list-style-type: none"> ・ リピーター確保による安定した講座実施
3. 実績
<別紙3>「運動実技・歌講座・朗読講座」(p58-60)

4. 概要と成果

新型コロナウイルス感染拡大で緊急事態宣言が発令され、全ての春期講座が中止になるなど、今年度の事業の中で最も新型コロナウイルス感染症の影響を受け、自主事業収入が減少した大きな要因となった。

①運動講座 「ヨガ」「ピラティス」「気功」は受講生にも好評であり、安定した受講者数を確保した。しかし、感染予防のため外出を控える人が増えたことが影響し、4コースが最少催行人数に満たず講座を取り止めた。また、夜間は特に多くの方が外出を控えたため、秋期・冬期とも夜間講座の応募者数が伸び悩んだ。安定した受講生の確保に向け、リピーターの確保と新規受講生の開拓のため、これまで以上にニーズの把握や広報を強化していく。

②うた講座 過密な状態では、飛沫による感染が懸念されるため、定員を半分の20人で募集した。秋期は実施可能な応募者数を得て5講座とも実施し、冬期はさらに応募者が増えて安定した実施が可能となった。愛唱歌は、秋期・冬期ともに定員20人のところ、応募数が30人以上となったため、2クラスに分け(定員各20人、回数を16回から8回に変更)実施した。

③歌声喫茶 飛沫感染防止のため、年12回(拡大版4回含む)の歌声喫茶をすべて中止とした。開催の目途がつかないため、いつも楽しみにして下さる方にご自宅で楽しんでいただけるよう歌声喫茶でおなじみの曲を収録した動画(約17分)を制作。ウイングス京都YouTubeチャンネルにて期間限定(3/15~5/31)で配信。コロナ収束後の集客に繋げたい。

④朗読講座 感染防止のため前期が中止となったが、後期に再度申し込みされた熱意を持った方も多く何とか定員の8割を集客し、実施することができた。発声とストレッチ、表現を目的とした講座は高いニーズが見込まれるため、リピーターを確保しつつ、同目的の講座を増やすことも検討したい。

公益1	(単位:千円)				
定款	男女共同参画社会の実現を目指す取組の普及促進のための広報、啓発及び学習支援		条項	第3号	
事業名	保育事業		事業企画課		
講座名	事業参加者の保育・施設利用者の保育・親子のふれあい広場				
目的	講座保育・一時保育と親子同士がふれあう事業をNPOとの協働で行い、子育て中でも安心して学習や研修に参加、あるいは相談室利用ができる環境を提供する。				
	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
事業費	1,800	928	872		

事業の計画

1. 実施内容
<p>保育事業を保育グループマザーグースと協働で実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業参加者の保育／施設利用者の保育 4ヶ月以上就学前までの子ども対象 ・ ふれあい広場 親子で参加するふれあい広場をマザーグースや他の子育て関連団体と連携し実施
2. 事業実施における課題
<ul style="list-style-type: none"> ・ 新規メンバーの養成と乳幼児の保育が増えつつある現状へ体制整備
3. 実績
<別紙4>「保育事業」(p.61)
4. 概要と成果
<p>新型コロナウイルスの感染拡大で緊急事態宣言が発令されたことにより、4/2～6/14まで保育を中止した。6/15より一時保育、8/24より講座保育を再開したが、全体の保育人数は121人で例年の約半分となった。感染防止対策として、子どもの部屋の定員を15人から半数の8人に減らし、おやつ提供の中止、30分ごとの室内換気、保育終了後のおもちゃの消毒や部屋の清掃を徹底するなどの対応をした。</p> <p>【主催事業受講者の保育】(対象年齢:4ヶ月以上就学前) 京都市からの受託事業の保育及び自主事業受講者に対し保育を実施した。</p> <p>・【施設利用者の保育】 図書情報室・相談室など、京都市男女共同参画センター利用者に対し、保育を実施した。</p> <p>・【ふれあい広場】 親子で気軽に参加できる催しを7回開催(年間で12回実施予定だったが、5回は中止)。コロナ禍で孤立し、気を張って育児をしている母親に、不安を軽減し、育児を楽しむきっかけづくりの場となるよう、母親がリラックスできる雰囲気を作りながら実施した。</p> <p>・月1回、保育担当者は、マザーグースとの運営会議を持ち、日常の保育について情報共有をし、安心・安全な保育を提供した。</p>

公益2	(単位:千円)				
定款	男女共同参画に関する相談	条項	第4号		
事業名	相談業務	事業企画課			
講座名	女性のための相談／男性のための相談				
目的	男女共同参画に関わる市民の多様な相談ニーズに対応し、相談者自身が悩みの背景を認識し、自己を肯定して問題解決を図っていけるようサポートする。				
	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
事業費	13,580	13,856	△ 276		

事業の計画

1. 実施内容

- ・ 女性のための相談
(電話・面接・女性への暴力相談・法律相談)
- ・ 男性のための相談
(面接・DV電話相談)

2. 事業実施における課題

- ・ 予約専用電話の設置に伴う利用者サービスの向上
- ・ 男女共同参画の視点を持った相談員の育成
- ・ 男性DV電話相談の効果的な実施

3. 実績

種 類		2020年度	2019年度	前年比
女性のための相談	電 話	849	674	126.0%
	面 接	618	854	72.4%
	法 律	39	65	60.0%
	女性への暴力	119	185	64.3%
男性のための相談	面 接	86	116	74.1%
	男性DV電話	20	17	117.6%
合 計		1,731	1,911	90.6%

4. 概要と成果

緊急事態宣言の発令に伴った2カ月間の閉館中は面接相談を中止し、電話相談のみで対応した。また、外出自粛の影響から面接相談件数は3～4割減少したが、その分電話相談が2割強増加したため、相談総数は昨年度の1割減にとどまった。相談内容もコロナ禍での先行きの見えない不安等を訴える方も多かった。

今年度から開室時間を1時間早めたことと、予約専用電話を設置したことから、利用者へのサービス向上につながる運営ができた。

公益2	(単位:千円)				
定款	男女共同参画に関する相談	条項	第4号		
事業名	相談事業	事業企画課			
講座名	DV被害当事者のための自立支援事業				
目的	DV被害者が、人が本来持つべき自尊感情を取り戻し、自分を大切に思うことなどを専門家の助言を得ながら、当事者同士で語り合い、互いに受容しあうことを通して、心身の回復を促す。				
	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
事業費	360	260	100		

事業の計画

1. 実施内容
<ul style="list-style-type: none"> ・ 講義とアドバイザーを交じえたグループでの語り合い(全5回) ・ 講座後のアフター会の実施(全3回) ・ 成果報告会(2013~2019)の作成
2. 事業実施における課題
<ul style="list-style-type: none"> ・ 潜在的な対象者へのアプローチと集客 ・ 関連機関との連携 ・ アフター会メンバー、アドバイザーとの協働
3. 実績
<p>①DV被害者自立支援講座「わたしが私でいるために」 回数(5) 定員(15) 参加者数(14) のべ参加者数(70) 定員充足率(93%) 【日時】10月17日(土)~12月5日(土) 全5回 10:00~12:00 (アフター会 2021年1~3月 全3回) 【講師】竹之下雅代(ウィメンズカウンセリング京都) 【対象】DV被害を受けた経験がある女性で加害者と別居中の方</p> <p>②居場所づくり「わたしが私でいるために~アフター同窓会」 回数(10) のべ人数(44) 【日時】6月~3月 10回実施 【ファシリテーター】 竹之下雅代</p>
4. 概要と成果
<p>①DV被害者が、専門家の助言と立ち合いのもと、当事者同士の語り合いと受容を通して、暴力によって失われつつあった自尊感情を取り戻し、心身の回復を促すことを目的とした連続講座を実施した。今年度は開催日を土曜日に変更して実施したところ、定員を超える申込につながった。参加者は回を重ねるごとに発言が増え、表情が明るくなるなどの変化がみられた。安心な場で自分の気持ちを語ることの意味や効果を実感されていた。 【アンケート結果】大変満足・満足 100%/参加による変化 100%</p> <p>②過去に「DV被害者自立支援講座」を受講した方を対象に、ファシリテーターが同席し、安心して語り合える「居場所」を提供した。また11月のパープル月間では、「わたしの一枚」と題したアート作品を制作・展示した。また、次年度に発行予定の報告冊子作成に向けたアンケートや座談会にも積極的に参加された。</p>

公益2	(単位:千円)				
定款	男女共同参画に関する相談	条項	第4号		
事業名	相談事業	事業企画課			
講座名	トラウマ・ケアの読書会				
目的	性暴力の被害によりトラウマを抱えている人を対象に、自尊感情を取り戻し心身を回復を促す。				
	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
事業費	270	118	152		

事業の計画

1. 実施内容
・ トラウマケアのための読書会の実施(4~5回)
2. 事業実施における課題
・ 参加者にとって安心・安全な場の提供 ・ 関連機関との連携
3. 実績
回数(4) 定員(15) 参加者数(14) のべ参加者数(33) 定員充足率(93%) 【日時】12月8日(火)~3月9日(火) 全4回 10:00~12:00 ※日時は参加者のみに通知 【対象】DV等女性に対する暴力の被害を経験した女性 【講師】竹之下雅代(ウィメンズカウンセリング京都) 【内容】 読書を通じて、トラウマの影響や自分を大切にセルフ・ケア等を学ぶ 『赤ずきんとオオカミのトラウマ・ケア』白川 美也子/著 アスク・ヒューマン・ケア/発行 ※テキストは貸出
4. 概要と成果
これまで、居場所づくり事業として、「わたしが私であるために」を受講された方に限定して開催していた語り合いの場を、安全を確保しつつ、もう少し開かれた場へと変化させるため試験的に実施した。 開催にあたっては安心・安全を確保することが最も重要なため、日時・場所等は、担当者が直接確認した参加者のみに伝えた。また、参加者それぞれの回復状態が異なる中、互いの経験を過度に聴いて不安を感じることがないように、「読書」によりそれぞれが自分の身に起きたことを整理しつつ、「読んだ内容」についての感想を話すことを前提にすることで、それぞれが適度に自己開示しつつ安心・安全な場を維持することができた。 定員を超える申込となり、参加していただけなかった方が多数あった一方で、体調不良やコロナの影響で欠席の割合も高かった。次年度は申込の受付を日程ごと直前にする等、参加の機会を増やす工夫をしたい。 【アンケート】大変満足・満足 100% 参加による変化 80%

公益2	(単位:千円)				
定款	男女共同参画に関する相談	条項	第4号		
事業名	相談事業	事業企画課			
講座名	大学相談室派遣事業／相談員研修				
目的	大学内の相談室に相談員を派遣し、相談者の問題解決を支援する。 相談員のスキルアップを図る。				
	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
事業費	934	528	406		

事業の計画

1. 実施内容
<ul style="list-style-type: none"> ・佛教大学の委託を受け、学生や教職員対象のハラスメント相談室に相談員1名を派遣する(週1回) ・相談員を対象にグループスーパービジョンや研修を実施する。
2. 事業実施における課題
<ul style="list-style-type: none"> ・ 男女共同参画の視点での問題解決の落とし込み ・ さまざまなハラスメント事例に対応できる職員の体制づくり
3. 実績
<ul style="list-style-type: none"> ・佛教大学において、ハラスメント相談に来所する学生・教職員の相談に対応した。 (月3回・金曜日 12:30～16:30) ・グループスーパービジョン10回、勉強会4回、相談連絡会議1回を実施した。
4. 概要と成果
<ul style="list-style-type: none"> ・佛教大学ハラスメント相談室において、学生・教職員の相談に対応した。また、学内において人権相談窓口や、学内相談員向けの研修についてアドバイスを行った。 ・相談員のグループスーパービジョンでは、スーパーバイザーからのアドバイスをもとに事例検討を行った。また、暴力相談カウンセラーと協会相談員の勉強会を4回実施した。男性相談、男性DV電話相談、女性への暴力相談担当カウンセラーとともに連絡会議を行い、それぞれの課題や問題点を共有した。

公益2	(単位:千円)				
定款	男女共同参画に関する相談	条項	第4号		
事業名	関係機関連携／苦情・要望等処理制度の受付		事業企画課		
講座名	関係機関連携／苦情・要望等処理制度の受付				
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・ 相談に関わる機関の連携により、支援機関の相互交流と、支援員の資質向上を図る。 ・ 京都市男女共同参画苦情・要望等処理制度の受付を行う。 				
	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
事業費	90	10	80		

事業の計画

1. 実施内容
<ul style="list-style-type: none"> ・ 女性のための相談ネットワーク会議(年2回) ・ 配偶者からの暴力に関するネットワーク京都会議 ・ 京都犯罪被害者支援連絡協議会・性犯罪被害者対策研究分科会 ・ 京都ストーカー総合対策ネットワーク連絡会議 ・ 苦情・要望等処理制度の受付
2. 事業実施における課題
<ul style="list-style-type: none"> ・ 各機関同士の連携強化
3. 実績および4. 概要と成果
<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域自治推進室より特別定額給付金申請者の聞き取り対応の依頼を受けた。申請者の中には意思疎通が難しい方もおられるため、聞き取りの専門家として相談員を1名派遣した。 ・ 関係機関の連絡会議は、オンライン会議が可能な機関が揃わず、予定していた会議がほぼ中止になった。 ・ 苦情・要望等処理制度の受付 0件

公益3	(単位:千円)				
定款	男女共同参画に関する市民の活動の支援 及び相互交流の促進	条項	第5号		
事業名	地域コミュニティ活性化の促進事業	事業企画課			
講座名	京都市男女共同参画市民会議(ウイングスフォーラム)				
目的	男女共同参画社会の形成に向けて、市民の意識向上を図り、学習を行う。				
	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
事業費	1,000	633	367		

事業の計画

1. 実施内容
<ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画に関するテーマについて演者を招き、講演会を行う。
2. 事業実施における課題
<ul style="list-style-type: none"> 京都市や京都市男女共同参画市民会議運営懇談会との円滑な協働
3. 実績
<p>『ウイングスフォーラム2020～ウイングスフォーラム20年・ウイングス京都25年の軌跡～』 A4判、16ページ、フルカラー、20,000部発行</p> <p><主な内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ウイングスフォーラムの軌跡 講演を案内ポスターや参加者の声により振り返る。 ウイングス京都の軌跡 ウイングスフォーラム2019講演内容 (講演:「自分を知り、見方を変える」講師:為末大(元陸上競技選手・Deportare Partners代表)) <p>昨年、節目の年を迎えた「ウイングスフォーラム2019」において好評を博した為末大氏の講演内容を収録。世界で活躍する為末氏ならではの視点で、自分自身の再発見、意識改革の大切さについて語られた。</p>
4. 概要と成果
<p>今年度のウイングスフォーラムは、新型コロナ感染防止のため、通年のように講演を行わず、ウイングスフォーラム20年、ウイングス京都25年を記念し、『ウイングスフォーラム2020～ウイングスフォーラム20年・ウイングス京都25年の軌跡～』を発行した。</p> <p>ウイングスフォーラムやウイングス京都のこれまでの軌跡をたどることで、京都市男女共同参画センターとして、男女共同参画社会の実現をどのように市民に伝えてきたかを改めて振り返る機会にもなった。</p>

公益3	(単位:千円)				
定款	男女共同参画に関する市民の活動の支援 及び相互交流の促進	条項	第5号		
事業名	地域コミュニティ活性化の促進事業	事業企画課/総合窓口課			
講座名	センター利用者や地域との協働事業				
目的	地域団体等と連携し地元との関わりを深めるとともに、ウイングス京都とその役割への認知度向上を図る。				
	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
事業費	35	10	25		

事業の計画

1. 実施内容
<ul style="list-style-type: none"> ・ 歩いて暮らせるまちづくり推進会議との連携事業実施 ・ 講座受講生の成果発表会の実施 ・ センター利用者などによるロビーでの常設展示やイベントなどの開催
2. 事業実施における課題
<ul style="list-style-type: none"> ・ 賛同団体の発掘と継続的な連携
3. 実績
<ul style="list-style-type: none"> ・ 歩いて暮らせるまちづくり推進会議が活動していなかったため、連携事業を実施しなかった ・ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、講座受講生の成果発表会を中止した。 ・ 常設展示やイベント ロビー常設展示・・・展示団体数のべ6団体
4. 概要と成果
<p>新型コロナウイルス感染拡大の影響により、多くの連携、協働の取組を行うことができなかった。</p>

公益3	(単位:千円)				
定款	男女共同参画に関する市民の活動の支援 及び相互交流の促進		条項	第5号	
事業名	地域コミュニティ活性化の促進事業		事業企画課		
講座名	パープルリボンの取り組み他				
目的	「女性に対する暴力をなくす運動期間」(11/12~25)に合わせて、11月をパープルリボン月間と定め、前年度に新設したパープルカフェをはじめブックフェアの開催(図書情報室)や館内における情報掲示、パープルリボンツリーの設置等、市民への啓発事業を行う。				
	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
事業費	145	80	65		

事業の計画

1. 実施内容

- ・ パープルリボンの取り組み
1Fロビー等を利用して、常設展示及びイベント等を実施する。実施にあたっては、府の男女共同参画センターや近隣の活動団体との協働により運営・開催する。女性への暴力撲滅に関する取組を市民と協働し実施する。
- ・ パープルカフェの開催
「女性への暴力をなくす」ためにできることを考える機会として、前年度に新設。今年度も開催(隔月実施で年6回)

2. 事業実施における課題

- ・ 連携する団体との関係を維持し、広く市民に訴えることができるイベントの開催
- ・ パープルカフェメンバーのネットワークによるパープルフレンズの立ち上げに向けた地盤づくり

3. 実績

・パープルリボン月間2020 11月1日(日)～11月30日(月)
パープルリボン・ツリーの設置/DVサバイバーによるメッセージ作品展/DV防止に取り組む団体のパネル展/インフォメーション・ブース/女性に対する暴力を考えるブックフェア/メッセージキルト・啓発パネル展/「それ、デートDVかも？お付き合い力診断」
(協力:長岡京市男女共同参画センター、ボランティアグループ「楽希生」、京都市中央青少年活動センター)

・パープルカフェ

回数(1) 定員(20) 応募者数(15) 参加者数(13) 定員充足率(87%)

【日時】 11月28日(土)14:00～15:30

【講師】 池田裕美枝(「KYOTO SCOPE」事務局、京都大学大学院医学研究科健康情報学分野博士課程、産婦人科専門医)

【内容】社会的に困難な状況にある女性を支援する医療者向けのプラットフォーム「KYOTO SCOPE」事務局の講師を招き、「トラウマ・インフォームド・ケア」の考え方についてレクチャーを受け、必要な支援のあり方や関連機関の連携の重要性について参加者同士で学び合った。

・note「パープルカフェOnline」での発信(7記事投稿)

感染症対策のためカフェ企画の実施が困難な状況を受け、京都市内で「女性への暴力」に関する活動を行う団体や人のインタビュー記事を上げるテキストサイトを立ち上げた。

4. 概要と成果

・パープルリボン月間

女性に対する暴力をなくすためにできることを考える機会として、1Fロビーを中心に啓発事業を実施した。今年度はDVと虐待についても関心を持っていただくために、DV防止のポスターだけでなく児童虐待防止なども展示した。チラシのデザインは前年度に引き続き京都市内の学生によるもので、SNSで目を引くデザインにすることで、若年層にも広く周知することができた。

・パープルカフェ

「トラウマ・インフォームド・ケア」という近年注目される支援の考え方について、医療従事者の生の声を通して聞けた点が満足度が高かった。またオンラインで京都市内の同じ関心を持つ人を繋ぐ機会が作れ、貴重な機会となった。

・パープルカフェOnline

男女センターのnote運営は珍しく、SNSを中心に多数の反響があった。京都市内で有意義な活動を行う団体の情報を発信でき、今後に向けた繋がりを作ることができた。

公益3	(単位:千円)				
定款	男女共同参画に関する市民の活動の支援 及び相互交流の促進	条項	第5号		
事業名	地域コミュニティ活性化の促進事業	事業企画課			
講座名	中京区民ふれあい人権映画鑑賞会				
目的	人権や男女共同参画に関わる企画提案や事業の実施、講師派遣等を行う。				
	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
事業費	570	23	547		

事業の計画

1. 実施内容
中京区役所からの委託を受け、イベントホールで実施
2. 事業実施における課題
区民が関心をもち、幅広い年齢層の参加につながるテーマ設定
3. 実績 ※新型コロナウイルス感染拡大により緊急事態宣言発令のため中止
<p>中京区民ふれあい人権映画鑑賞会「映画『あん』に見る『生きるという意味』」 回数(1) 定員(100) 【日時】2月20日(土)13:30~16:30 【内容】第1部 映画鑑賞会「あん」 (2015年カンヌ国際映画祭「ある視点部門」オープニング作品) 第2部 講演会「映画『あん』に見る『生きるという意味』」 講師:ドリアン助川 (「あん」原作者、作家、明治学院大学国際学部教授)</p> <p>主催:中京区役所 共催:中京区民ふれあい事業実行委員会 こころ・愛・ふれあいネットワーク 中京区地域啓発推進協議会</p> <p>未曾有のコロナ禍の中で、感染症による人権侵害等の問題が注目されており、元ハンセン病患者の老女が尊厳を失わず生きようとする姿を描いた『あん』を上映する予定であった。今年度は密を避けるため、定員を例年の半数の100人と設定し準備を進めていたが、新型コロナウイルス感染症の拡大により、令和3年1月13日に京都府を対象区域とする緊急事態宣言が発令されたため、主催者の中京区役所の判断により、開催中止となった。</p>

4. 概要と成果

新型コロナウイルス感染拡大を受け緊急事態宣言が発令されたこともあり、5月末の応募締切を6月末までに延長したが、新型コロナウイルス感染症の影響で事業の開催時期等が見通せないこともあり、応募は1団体にとどまった。

with コロナ生活で考える「子どもが自分を守る力」

【日時】2月13日(土)13:30～15:30

【内容】

「コロナ禍の今、変わったこと・変わらなかったこと」

①コロナの今、どんなふうに感じているか、どんな感覚を持っているかを参加者同士で共有し合う②CAP子どもワークショップ模擬体験を実施③「安心」「自信」「自由」という3つの権利、基本的人権があることを伝える④子どもが「学校に行きたくない」と言ったらどうする？ No, Go, Tell (という選択肢があるということ伝える)子どもの話をきくなど

【講師】あおぞらCAP京都/NPO法人CAPセンター・JAPAN重松和枝

【対象】小学校中学年の子を持つ保護者または関心のある方

【定員】参加者11人(男性1人・女性10人)

【アンケート】11人中7人が「大変満足」、4人が「満足」

長引くコロナ生活での不安やストレス、いじめから、子どもが心と体を守るために、あらためて子どもの権利、おとなの権利について考えるこの講座は、子育て不安に悩む保護者にエンパワメントを与えただけでなく、それぞれが持っている力を発揮できるようになるための学びの機会となった。

公益3	(単位:千円)				
定款	男女共同参画に関する市民の活動の支援 及び相互交流の促進	条項	第5号		
事業名	人材・団体育成事業	事業企画課			
講座名	防災リーダー育成事業				
目的	災害に備え、安心して暮らせる地域づくりの推進を目指し、防災リーダーを育成する。				
	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
事業費	425	163	262		

事業の計画

1. 実施内容
<ul style="list-style-type: none"> ・ 災害時の女性の困難と対策、防災・減災を男女共同参画の視点で考えた京都版HUG(避難所運営ゲーム)を作成する。
2. 事業実施における課題
<ul style="list-style-type: none"> ・ 府市の円滑な連携による講座運営 ・ 防災に携わる地域の団体や関係機関との連携と男性に向けた意識改革
3. 実績
<p>きょうと男女共同参画センター防災事業「+女性の視点で災害対応力を強化する!『男女共同参画の視点からの防災・復興ガイドライン』セミナー」</p> <p>回数(1) 定員(80) 参加者数(66) 定員充足率(83%)</p> <p>【日時】2月5日(金)18:30~20:00 (ZoomミーティングおよびYouTubeライブ)</p> <p>【講師】池田恵子(静岡大学教育学部教授、静岡大学防災総合センター兼任教員、減災と男女共同参画研修推進センター共同代表)</p> <p>【ホスト・進行】ウイングス京都 【共同ホスト】らら京都</p> <p>【内容】</p> <p>1. 「災害対応力を強化する女性の視点」 男女共同参画の視点からの防災・復興ガイドラインのポイント解説</p> <p>2. withコロナ時代の避難所: 感染予防対策 ゾーニングと避難所でのレイアウト 要配慮者支援における女性のニーズへの対応等</p>

4. 概要と成果

令和2年5月に内閣府が策定した『男女共同参画の視点からの防災・復興ガイドライン』のポイントとともに避難所での感染症予防対策について学ぶオンラインセミナーを京都府市の男女共同参画センターの連携による事業として実施した。

アンケートによると満足度、理解度、業務との関連性すべて8～9割以上と高く、地域の防災を担う方に役立つ情報を多く提供できたことがわかる。また、女性リーダーの必要性や様々な立場の人が動く状況をつくること(男女共同参画・多様性)の重要性を理解していただけたことで、継続して学びたい、地域で広めたいという意欲を喚起することができた。「男女共同参画の視点の防災教材」作成に向け、引き続き府下男女センターの連携で取り組んでいきたい。

《連携・協力先》

主催：京都市男女共同参画センター・京都府男女共同参画センター

共催：福知山市男女共同参画センター・舞鶴市男女共同参画センターフレアス舞鶴・綾部市男女共同参画センター・宇治市男女共同参画支援センター・城陽市男女共同参画支援センターぱれっとJOYO・向日市女性活躍センターあすもあ・長岡京市男女共同参画センター“いこ～る”プラス・京田辺市女性交流支援ルームポケット・京丹後市女性センター・木津川市女性センター

公益3	(単位:千円)				
定款	男女共同参画に関する市民の活動の支援 及び相互交流の促進	条項	第5号		
事業名	人材・団体育成事業	事業企画課			
講座名	共催・後援事業／講座受講生のグループ育成				
目的	男女共同参画推進に関わる事業等を実施する機関やNPOと協働し、会場提供や広報協力を通じて事業の推進を支援する。				
	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
事業費	140	20	120		

事業の計画

1. 実施内容
<ul style="list-style-type: none"> ・ 男女共同参画社会の実現に向けた企画について共催・後援を行う。 ・ 講座から発生したグループの支援を行う。
2. 事業実施における課題
<ul style="list-style-type: none"> ・ 協働団体との連携 ・ グループの自立化を目指したサポート体制
3. 実績
<p>共催事業 1件 後援事業 0件</p>
4. 概要と成果
<p>コロナ禍で事業を中止にされることが多かったせいか、共催事業や後援事業の申請が例年に比べ少なかった。 共催を決定した団体とは、ミッションを共有して事業を進めた。コロナ禍の中での実施で、集客を心配されていたが、広報協力の効果もあり、定員を超える応募があった。 ＜別紙5＞「2020年度 共催・後援事業」(p.62)</p>

公益3	(単位:千円)				
定款	男女共同参画に関する市民の活動の支援 及び相互交流の促進	条項	第5号		
事業名	人材・団体育成事業	事業企画課			
講座名	相談員養成講座(★)				
目的	あらゆる相談窓口に携わる人を対象に、男女共同参画の視点を持ち、個人の 問題を社会の問題としてとらえることのできる人材を養成する。				
	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
事業費	805	64	741		

事業の計画

1. 実施内容
<ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画の視点に沿った相談員養成講座の実施
2. 事業実施における課題
<ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画の視点を落とし込むためのプログラム構築
3. 実績
<p>「相談の現場から見るDV」～男性相談・女性相談それぞれの立場から～ 回数(1) 定員(50) 応募者数(47) 参加者数(43) 定員充足率(86%) (参加者内訳:相談経験あり 20人 なし14人 不明9人) 【日時】11月15日(日)13:00～16:00 【内容】男性相談・女性相談の共通の課題DVに焦点をあて、支援者の立場から、暴力の 背景にあるものは何かを講師の対談を通して考える。 【講師】 ①濱田智崇(京都橘大学 健康科学部 心理学科 准教授、カウンセリングオフィス天満橋 代表) ②福岡ともみ(認定フェミニストカウンセリング・アドボケイター、ウィメンズカウンセリ ング京都スタッフ、特定非営利活動法人 性暴力被害者支援センター・ひょうご事務局長) 【対象】対人援助に関わる方、相談業務に関心のある方</p> <p>* 昨年度、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した講座を今年度に延期して実 施</p>

4. 概要と成果

今年度は新型コロナウイルス感染拡大予防対策として、当初予定していたディスカッションなどは行わず、スクール形式での実施とし、昨年の参加希望者16人を含む43人が参加した。講師として男性相談員・女性相談員を招き、前半は男性・女性相談の特徴や、性的役割分担意識がどう影響しているのかなどを学んだ。後半は、対談形式で、相談員としてどう対応すればいいのか、関わりや支援について、話していただき、参加者の理解を深めた。女性相談は個人的悩みを外在化させ、男性相談は外在化した問題を内在化させるという傾向があるなど相談支援に活かせる内容であった。相談業務に関わっている方の参加も多く、多くの知識を得ることができた、女性相談と男性相談の違いが認識でき、今後相談に関わる上でいかしていきたいなど好評だった。

★人材育成事業準備資金により実施

公益3	(単位:千円)				
定款	男女共同参画に関する市民の活動の支援 及び相互交流の促進			条項	第5号
事業名	京都市男女共同参画センターの目的利用 団体に対する施設管理業務			総務課・総合窓口課	
目的	京都市の指定管理者として、京都市男女共同参画センターの施設管理業務を円滑に行い、男女共同参画の推進拠点として市民の生活に根差した活気あるセンターを目指す。				
	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
事業費	32,011	27,472	4,539		

事業の計画

1. 実施内容
<p>(1) 男女共同参画社会実現の目的に即して活動する団体を育成、支援するために、目的利用団体として登録し、優先的に施設の貸出しを行う。</p> <p>(2) 危機管理・防災計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 消防訓練の実施、防災マニュアルの精査及び改正 ・ 妊産婦等福祉避難所訓練・準備 <p>(3) KES環境マネジメントにおける環境改善(目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 水の利用 基準年(前年度)比100%以下。 ・ 紙の使用(A4用紙) 基準年(前年度)比100%以下。 ・ 環境保全 近隣の高倉小学校と連携し環境保全に努める。 同校の保全活動を紹介し、施設利用者への啓発を行う。 <p>(4) サービス向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者の利便性に配慮した支払方法の検討 ・ より使いやすい施設利用の検討 <p>(5) 利用者アンケートの実施</p> <p>(6) センターの認知度向上 広報の充実(ホームページ・Facebook・Twitterの活用作成等)</p>
2. 事業実施における課題
<ul style="list-style-type: none"> ・ 新たな目的利用団体を開拓するとともに、目的利用団体にこれまで以上の会場活用を呼びかけ、センター事業への積極的な参加を促す。

3. 実績

- (1) 男女共同参画社会実現の目的に即して活動する団体を育成、支援するために、目的利用団体として登録し、優先的に施設の貸出しを行った。
＜目的利用登録団体数＞ 73 団体（前年度:76団体）
＜目的利用事業数＞ 0 件（前年度:8件）
- (2) 救命救急講習を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。
- (3)
 - ・ 水の利用 基準年(前年度)比 51.7%
 - ・ 紙の使用(A4用紙) 基準年(前年度)比 84.9%
 - ・ 環境保全 7月に高倉小学校の生徒が育成したヒオウギの展示を行った
- (4) イベントホール、ギャラリスペースの利用者に対して、振込による利用料金の支払いを導入し、利便性の向上を図った。
- (5) コロナウイルス感染拡大防止のため、本年度は実施しなかった。
- (6) センターの認知度向上
ホームページのリニューアルを実施、SNSを活用した情報提供を行った。

4. 概要と成果

目的利用登録団体数は、団体構成者の高齢化に伴い減少傾向にある。特に目的事業は新型コロナウイルス感染症で会場利用や集会が困難になったことも、減少につながった。
また、施設の経年劣化による緊急を要する修繕も増えてきており、状況の改善に向けて、京都市との協議を行う必要がある。

収益		(単位:千円)			
定款	収益事業				
事業名	京都市男女共同参画センターの目的利用 団体以外に対する施設管理業務	総務課・総合窓口課			
目的	京都市の指定管理者として、京都市男女共同参画センターの施設管理業務を円滑に行い、男女共同参画の推進拠点として市民の生活に根差した活気あるセンターを目指す。				
	予算額	執行額	増減	会計	収益事業
事業費	54,509	46,777	7,732		

事業の計画

1. 実施内容
<ul style="list-style-type: none"> (1) 目的利用以外の団体に対し、施設の貸出を行う。 (2) 危機管理・消防訓練・防災計画(再掲) (3) KES環境マネジメントにおける環境改善(目標)(再掲) (4) サービス向上と苦情への対応(再掲) (5) 利用者アンケートの実施(再掲) (6) センターの認知度向上(再掲)
2. 事業実施における課題
<ul style="list-style-type: none"> ・ ギャラリースペースの認知度向上と新規利用者の開拓 ・ 夜間利用者の開拓
3. 実績
<p>(1)施設利用率(日数利用率) 61.3% (前年度 83.6%) 貸館利用料 44,184,865 円 (前年度 65,038,285 円) 入館者数 236,428人 (前年度 428,432人) <別紙6-1>「2020年度 京都市男女共同参画センター利用状況」(p.63) <別紙6-2>「2020年度 京都市男女共同参画センター利用状況(時間帯別)」(p.64)</p>
4. 概要と成果
<p>新型コロナウイルス感染拡大防止のため、4/18～5/31の完全閉館、またその後の1/16～2/7の夜間の閉館時間短縮等を受け、貸館使用料収入は前年度の61.4%にとどまった。ギャラリースペース等の広報は、外出自粛の要請がされていたことから行うことができなかった。下半期には、ギャラリー利用者に向け、京都市が実施した助成金制度を併せて案内することで利用を促したが、新型コロナウイルス感染症の状況が刻々と変化する中、キャンセルする団体が続出した。利用率も前年度を大きく下回り、利用料金の収益も前年度比約68%となった。</p>

法人	(単位:千円)				
定款	財団運営				
事業名	経営管理、組織・人事管理		総務課・総合窓口課・事業企画課		
目的	評議員会、理事会の決定に基づいた運営を行い、柔軟な組織体制と安定した経営基盤の強化を図る。				
	予算額	執行額	増減	会計	法人会計
事業費	5,102	3,750	1,352		

事業の計画

1. 実施内容

- (1) 評議員会・理事会の開催・運営
 - ・ 評議員会 年1回 6月 (臨時に開催する場合もある)
 - ・ 理事会 年2回 5・3月 (臨時に開催する場合もある)
 - ・ 業務執行理事会 年2回 5・3月 (臨時に開催する場合もある)
 - ・ 事務局会議(事務局長・課長・係長) 毎週1回
- (2) 組織 別紙1
- (3) 指定管理に関する業務
 - ・ 情報公開
 - ・ 個人情報保護の取り扱い
- (4) 人事・労務・研修
 - ・ 次世代を担う若手職員の育成
 - ・ 新人事評価制度の試行実施
- (5) 公益法人に関する業務
 - ・ 事業計画・事業報告の提出
- (6) その他の財団運営
 - ・ 大学生インターンシップ受け入れ

2. 事業実施における課題

- ・ 効率的な業務の遂行を目的とした組織体制、人員配置の見直し
- ・ 次期幹部職員の育成
- ・ 財団運営の指針となる中期経営計画「未来へのつばさ」の着実な遂行

3. 実績

- (1) 評議員会・理事会の開催・運営
 - ・ 評議員会 6月 書面評決により実施
 - ・ 理事会 定時 第1回 書面評決により実施
第2回 3月26日
 - ・ 業務執行理事会 年2回 5・3月
 - ・ 事務局会議(事務局長・課長・係長) 毎週1回実施
- (2) 組織 別紙7
- (3) 指定管理に関する業務
 - ・ 情報公開 公開件数 6件(相談業務に関する個人情報開示請求)
 - ・ 個人情報保護の取り扱い
- (4) 人事・労務・研修
 - ・ 次世代を担う若手職員の育成
 - ・ 新人事評価制度の試行実施
- (5) 公益法人に関する業務
 - ・ 2019年度事業報告 2020年6月29日提出
 - ・ 2021年度事業計画 2021年3月30日提出
- (6) その他の財団運営
 - ・ 大学生インターンシップ受け入れ
希望なし
 - ・ 早期退職勧奨を実施(3月)
1名退職

4. 概要と成果

- ・コロナ禍での適正な評議員会、理事会の執行に向けて、第2回定時理事会では、WEB会議システム(ZOOM)を導入した。
- ・若手職員の育成を目的として、全国公益法人協会主催の研修に参加した(オンラインによる参加)別紙8
- ・新人事評価制度を試行実施し、昇給、賞与の支給について適正化を図った(前期、後期)

法人	(単位:千円)				
定款	財団運営				
事業名	財務運営		総務課・総合窓口課・事業企画課		
目的	収入の安定と収支相償				
	予算額(再掲)	執行額	増減	会計	法人会計
事業費	5,102	3,750	1,352		

事業の計画

1. 実施内容
<p>収入の安定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 利用料金制導入にともない、貸会場の稼働率を上げ、収入の安定をはかる。特に稼働率が芳しくない施設については、広報を強化するなど対策を講じる。 ・ 自主事業の充実 ・ 京都市、他都市や企業・大学からの事業の受託 ・ 効果的な寄付金公募方法の検討
2. 事業実施における課題
<ul style="list-style-type: none"> ・ 稼働率向上のための営業やサービス向上の取組み ・ 事業収入の拡大 ・ 収支の均衡
3. 実績
<ul style="list-style-type: none"> ・ 稼働率向上のための営業やサービス向上の取組み サービス向上の一環として、イベントホールなど一部の会場利用料の振込制度を開始した。また、新型コロナウイルス感染症のため来館が難しい利用者のため、キャンセルに伴う書式を簡略化するなど業務の効率化を図った。 3月にすべての会議室やイベントホール等にWiFiを設置した(2021年4月から運用) ・ 自主事業の充実 ほとんどの事業を中止、時間短縮したことにより、大幅な収益減となった。 ・ 京都市、他都市や企業・大学からの事業の受託 中京ふれあい人権映画鑑賞会(中止) 相談員派遣受託(佛教大学)
4. 概要と成果
<p>コロナの影響で、大幅な赤字決算となった。また、施設の経年劣化による緊急を要する修繕も増えてきており、状況の改善に向けて、京都市との協議を行う必要がある。</p>